

令和2年7月豪雨や令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が頻発していることを踏まえ、横浜町でも事前防災対策を進める必要がある。横浜町には、三保川水系など全3水系の二級水系があることから、それぞれの流域の特性等に応じて下記の対策を実施することにより、横浜町全域において浸水被害の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・樹木伐採・河道掘削
- ・土砂災害対策
- ・森林整備・治山対策
- ・水田貯留

■ 被害対象を減少させるための対策

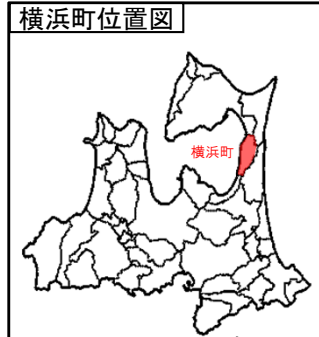
- ・盛土構造物の保全

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・円滑かつ迅速な避難のための取組
(ホットライン、タイムライン 等)
- ・被害軽減のための取組
(水防体制の強化 等)

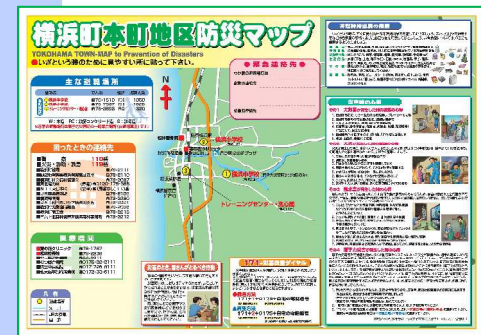


三保川



- ① 鶏沢川水系
② 桧木川水系
③ 三保川水系

- 市町村界
- 二級水系流域
- 二級河川
- 準用河川
- 普通河川



防災マップ

※対策の代表箇所を旗揚げしている(全域で取組む対策は省略)。
 ※「伐採・掘削」は該当河川の位置を旗揚げしている。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

横浜町を流れる3水系の流域全体を俯瞰し、県、町、関係機関等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 樹木伐採・河道掘削、土砂災害対策の実施。森林整備・治山対策、その他ソフト対策等の推進。

【中長期】 土砂災害対策を完了させるとともに各対策を継続実施し、地域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	樹木伐採・河道掘削	県・町	→	
	土砂災害対策	県	急傾斜地対策 →	
	森林整備・治山対策	町・森林管理署・森林整備センター	国有林・民有林 →	
	水田貯留	県・町 等	実施に向けた調整・検討	→
被害対象を減少させるための対策	盛土構造物の保全	県・町	道路盛土 等 →	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	円滑かつ迅速な避難のための取組	県・町・気象台	浸水想定区域・ハザードマップ、ホットライン・タイムライン、防災教育 等 →	
	被害軽減のための取組	県・町	水防体制の強化、町庁舎等の機能確保 等 →	

※取組期間について、【短期】は今後概ね5年、【中長期】はその後10年程度。なお、スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。